

# 神奈川県微生物検査情報

## 第 321 号

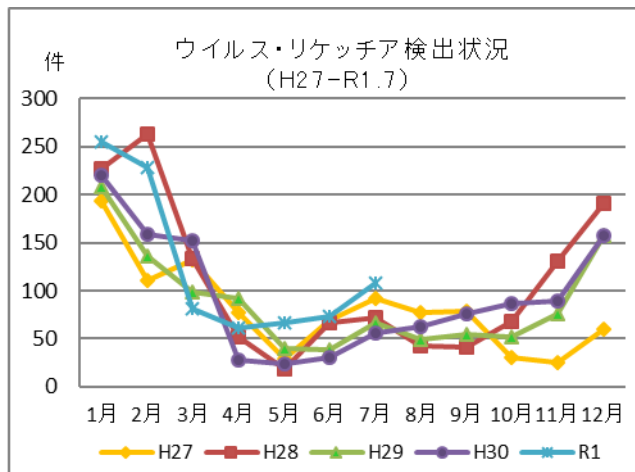
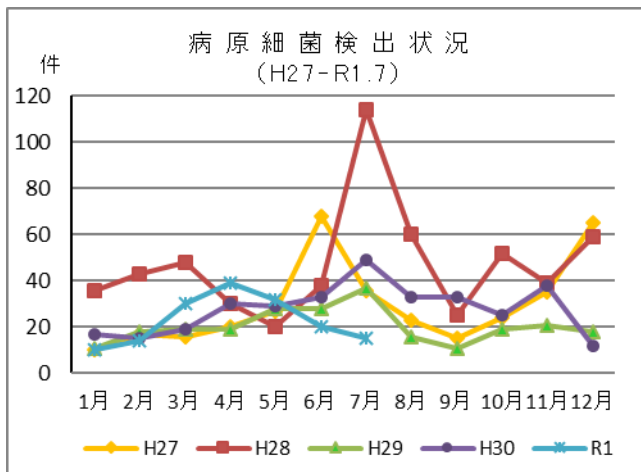
令和元年 9 月 18 日発行  
 病原体検出は令和元年 7 月分

神奈川県衛生研究所

表 1 病原体検出状況(保健所等別)－令和元年 7 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合計						
	平塚保健福祉事務所	秦野センター	平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	三崎センター	鎌倉保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所	足柄上センター	小田原保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	寒川町		計	小児科	インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	サルモネラ O8群										1				1							1
	カンピロバクター コリ			1												1						1
	黄色ブドウ球菌												1			1						1
	A群溶血レンサ球菌													1		1	7					8
	レジオネラニューモフィラ	1		1												2						2
	クラミジア トラコマティス											2				2						2
	計	1		2								3	1	1		8	7					15
ウイルス・リケッチア	コクサッキー A5															4						4
	コクサッキー A6						4							8	12	54						66
	コクサッキー A10															1						1
	コクサッキー A16															1						1
	エコー 11															1						1
	エコー 25															1						1
	ヒトパレコ 1															1						1
	ライノ															4				2		6
	ムンプス						1						2		3							3
	風疹									2					2							2
	アデノ 3													1	1	1						2
	アデノ 4															1						1
	ヒトヘルペス 6						1						1		2					1		3
	ヒトヘルペス 7						1								1							1
	ノロ												13	1	14							14
サポ												1		1							1	
計						7		2			15	12		36	69				3		108	
合計	1		2			7		2		3	16	13		44	76				3		123	

<検出状況>



7月の病原体検出数は合計 123 件、細菌は 15 件、ウイルス・リケッチアは 108 件であった。

- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が 7 件、ウイルスが 69 件、基幹定点からウイルスが 3 件検出された。
- 保健所等別の病原体検出状況は表 1 のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—令和元年7月

	感 染 症													（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 類 者 検 査 ） 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ	百 日 咳	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数					15	8		15	1						92	1688	1819
サルモネラ O8群																	1
カンピロバクター コリ															1		1
黄色ブドウ球菌															1		1
A群溶血性レンサ球菌								8									8
レジオネラ ニューモフィラ						2											2
クラミジア トラコマトリス																	2
計						2		8							2	3	15

- レジオネラ症患者 8 検体中 2 検体からレジオネラ ニューモフィラ 1 群が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 15 検体中 8 検体から A 群溶血性レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 3 検体、T6 が 3 検体、T11 が 1 検体、T28 が 1 検体であった。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)では、92 検体中 2 検体から食中毒菌が検出された。その内訳は、カンピロバクター コリが 1 検体、黄色ブドウ球菌(エンテロトキシン A)が 1 検体であった。
- 依頼検査では、1688 検体中 1 検体からサルモネラ O8 群が、2 検体からクラミジア トラコマトリスが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成30年7月～令和元年7月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	令和元年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	33	13	6			2	60	3					1		4
毒素原性大腸菌(ETEC)							2 (2)								
腸管病原性大腸菌(EPEC)			5		1		11				2		2		4
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)						1	2 (1)			1					1
その他の大腸菌 ※			1		1	1	4				1				1
サルモネラ O4群		1					9				1	1			2
サルモネラ O7群		2	1	2			6								
サルモネラ O8群					1		7							1	1
サルモネラ O9群							2								
サルモネラ 群不明							1								
腸炎ビブリオ		4	3				7								
カンピロバクター ジェジュニ	1	4	7	6	7		49			1	11	1	5		18
カンピロバクター コリ			1	1	1		4		1	1				1	3
黄色ブドウ球菌		1			2	2	11	1		1	2	1	1	1	7
ウエルシュ菌		1			1	1	3			5	1	12			18
セレウス菌					1		1								
赤痢菌 ( <i>S.boydii</i> )				1			1								
A群溶血レンサ球菌	9	6	6	12	18	4	123	6	9	19	20	17	9	8	88
マイコプラズマ ニューモニエ	4		1		2	1	11		1						1
レジオネラ ニューモフィラ		1	1	1	1		6		1					2	3
淋菌	1						1								
クラミジア トラコマティス	1		1	2	2		12		2	2	1		2	2	9
合計	49	33	33	25	38	12	333 (3)	10	14	30	39	32	20	15	160

※: その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

海外渡航者数は(内数)として記載



表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—令和元年7月

	感 染 症															食 中 毒 様 計	合 計	
	A 型 肝 炎	E 型 肝 炎	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	急 性 脳 炎	麻 し ん	風 し ん	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎			そ の 他
検 査 検 体 数				2	8	12	15	3	13	59	15	4		1	4	5	42	183
コクサッキー A5											4							4
コクサッキー A6					4					52	10							66
コクサッキー A10										1								1
コクサッキー A16										1								1
エコー 11										1								1
エコー 25										1								1
ヒトパレコ 1										1								1
ライノ					2					4								6
ムンプス					1							2						3
風 疹						2												2
アデノ 3								2										2
アデノ 4								1										1
ヒトヘルペス 6					2										1			3
ヒトヘルペス 7																1		1
ノ ロ									6									8
サ ボ									1									1
計				9	2	3	7	61	14	2			1	1	8		108	

- 急性脳炎患者2例8検体中2例7検体からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は髄液からヒトヘルペスウイルス6、咽頭ぬぐい液および便からライノウイルス、2例目は髄液からコクサッキーウイルスA6型およびムンプスウイルス、咽頭ぬぐい液からコクサッキーウイルスA6型およびヒトヘルペスウイルス6、便および血漿からコクサッキーウイルスA6型であった。
- 麻しん疑い患者4例(12検体)、風しん疑い患者5例(15検体)について検査を実施したところ、1例(2検体)から風疹ウイルスが検出された。
- 咽頭結膜熱患者3例からアデノウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス3型が2例、アデノウイルス4型が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者13例中7例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスが6例、サポウイルスが1例であった。
- 手足口病患者59例中58例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が49例、コクサッキーウイルスA10型が1例、コクサッキーウイルスA16型が1例、ライノウイルスが3例、エコーウイルス25型が1例、コクサッキーウイルスA6型とエコーウイルス11型の同時検出が1例、コクサッキーウイルスA6型とヒトパレコウイルス1型の同時検出が1例、コクサッキーウイルスA6型とライノウイルスの同時検出が1例であった。
- ヘルパンギーナ患者15例中14例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が10例、コクサッキーウイルスA5型が4例であった。
- 流行性耳下腺炎患者4例中2例からムンプスウイルスが検出された。
- 無菌性髄膜炎患者1例4検体中1検体(咽頭ぬぐい液)からヒトヘルペスウイルス6が検出された。
- 急性弛緩性麻痺患者1例5検体中1検体(咽頭ぬぐい液)からヒトヘルペスウイルス7が検出された。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)では、42検体中8検体からノロウイルスが検出された。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)—平成 30 年 7 月～令和元年 7 月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	令和元年累計
インフルエンザ AH1pdm09				1	9	63	115	73	39						112
インフルエンザ AH3			3		4	33	219	135	84	23	12	1			255
インフルエンザ A(亜型不明)									3						3
インフルエンザ B			1	1			227	2	3	4	11	1			21
コクサッキー A2	1		3				4								
コクサッキー A4	12	8	1				21								
コクサッキー A5	7	4	2	1			15							4	4
コクサッキー A6			3		1		4					2	17	66	85
コクサッキー A9		2					2								
コクサッキー A10			4	1			5							1	1
コクサッキー A16	2	2	8	3	5	5	27	2	1				1	1	5
コクサッキー B4													3		3
コクサッキー B5				3			3								
エコー 3		3					3								
エコー 6		2					2								
エコー 11														1	1
エコー 25														1	1
エコー 30		3					3								
エンテロ A71	9	7					31								
A型肝炎	2	5	5	5 (1)	4	2	29 (1)	1				2			3
E型肝炎	2		2		1		5	1		2		1	1		5
ヒトパレコ 1														1	1
ヒトパレコ 2		2					2								
ヒトパレコ 4				1			1								
ライノ	1			1	1		5							6	6
ムンプス							1						1	3	4
麻疹								3	13	16	3	27	3		65
風疹	3	11	37	65	33	24	173	25	45	17	11	9	11	2	120
アデノ 1		1	1		1		3		1	1	1	3	3		9
アデノ 2	3	1	1			3	16	1	3	3	3	3	4		17
アデノ 3	11	6	4	1		1	38	2	1		1	2	4	2	12
アデノ 4							1						1	1	2
アデノ 5	1				1		5	1			1		3		5
アデノ 6													1		1
アデノ 41	1					3	4								
アデノ 54					2		2								
アデノ 85							1								
アデノ(型未決定)						1	1	2			1	1	2		6
単純ヘルペス 1							3		1	1		1			3
E B		2					3								
サイトメガロ				1			1								
ヒトヘルペス 6				1			7	1						3	4
ヒトヘルペス 7		1			1	2	5						2	1	3
ロ タ							4			2	3				5
ノ ロ	1	1	1		20	17	134	6	34	9	12	13	13	14	101
サ ポ						1	4			2	1		2	1	6
アストロ						1	1			1	1	1			3
デング		1 (1)		2 (2)			5 (5)					1 (1)	1 (1)		2 (2)
オリエンチア ツツガムシ					6	1	7								
合計	56	62 (1)	76	87 (3)	89	157	1142 (6)	255	228	81	61	68 (1)	73 (1)	108	874 (2)

海外渡航者数は(内数)として記載





表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—令和元年7月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	7月			1-7月累計			7月				1-7月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	28	170	1	78	568	8	25		41	71	66	74	133	210
腸管出血性大腸菌(EHEC)														
その他の大腸菌 ※2														
サルモネラ O4群				1										
サルモネラ O7群														
サルモネラ O8群														
サルモネラ O9群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ				1										
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌														
セレウス菌														
レジオネラ属菌														
レジオネラ ニューモフィラ 1群												11		
レジオネラ ニューモフィラ 2群												1		
レジオネラ ニューモフィラ 3群												4		
レジオネラ ニューモフィラ 4群														
レジオネラ ニューモフィラ 5群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 6群												4		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 9群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群													1	
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計				2								25		

※: 河川水を含む。

※2: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。